

市議会だより

大室山 小室山



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。



国道135号一碧湖入り口付近（ワークマン付近） 昭和37年～昭和47年頃



国道135号一碧湖入り口付近（ワークマン付近） 平成29年

温

故

知

新

変わりゆく交通網

～国道135号

伊東市南部への入り口～

伊東市制70周年記念写真展より

主な内容

- 9月定例会の概要【P. 2】
- 一般質問（11議員が登壇）.....【P. 7】
- 決算大綱質疑（6議員が質疑）.....【P. 5】
- 常任委員会だより【P.11】

平成29年 9 月定例会

平成28年度一般会計・特別会計・企業会計決算を含む 34件の議案等を審議、決定

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市認第5号  討論	平成29年度伊東市一般会計補正予算(第3号)専決処分の報告承認について	静岡海区漁業調整委員会委員が辞職したことに伴う補欠選挙経費及び伊東オレンジビーチ海上遊具導入事業に対する補助金の計777万6,000円の追加補正措置を平成29年7月7日に専決処分したことについての報告	市長	全会一致で承認
市報第4号	平成28年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の「健全化判断比率」の報告及び病院事業会計、水道事業会計、下水道事業特別会計について「資金不足比率」の報告	市長	(質疑・報告のみ)
市議第13号	伊東市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準及び子ども・子育て支援法施行規則の一部を改正する内閣府令に伴い、特定教育・保育施設は、特定教育・保育の提供を求められた場合に認定内容を支給認定証で確認するものとしていたが、必要に応じて、支給認定証または支給認定通知書によって確認することに改める条例改正	市長	全会一致で可決
市議第14号	伊東市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準及び子ども・子育て支援法施行規則の一部を改正する内閣府令に伴い、保育料の算定基準にふるさと納税(ワンストップ特例)等の控除額を加える条例改正	市長	全会一致で可決
市議第15号	伊東市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	公営住宅法施行令及び住宅地区改良法施行令の一部を改正する政令及び公営住宅法施行規則及び地域における多様な需要に応じた公的賃貸住宅等の整備等に関する特別措置法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴う条項の整理並びに市営住宅で耐用年数を超過し、老朽化が著しい空き家及び公共下水道に接続したことに伴う合併浄化槽の用途廃止を行う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第16号	平成28年度伊東市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	平成28年度伊東市水道事業会計未処分利益剰余金4億4,040万9,213円のうち、1億8,457万8,576円を減債積立金へ、1億円を建設改良積立金へ、1億5,583万637円を資本金へ組み入れることについて、地方公営企業法の規定により議会の議決を求めるもの	市長	全会一致で可決
市議第17号	平成29年度伊東市一般会計補正予算(第4号)	主な内容として、第一に市内の経済状況を勘案した住宅リフォーム振興事業補助金や起業支援及び空き店舗対策事業補助金など、第二にふじのくに地域少子化突破戦略応援事業補助金を活用した子育て支援事業、さくらの里や小室山公園の夜間照明整備等の経費、第三に財政調整基金、ふるさと伊東応援基金への積み立てなど、5億1,086万円の追加	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第18号	平成29年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	確定した後期高齢者支援金、介護納付金等を減額するとともに、保険給付費の追加や精算による平成28年度分の国庫支出金返還金など、5,409万3,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第19号	平成29年度伊東市病院事業会計補正予算(第1号)	今年度施工予定の薬剤部換気設備機能向上工事において薬剤精製時の安全性をより高めるために事業費を追加するもので、資本的収入を600万円増額、資本的支出600万円の増額	市長	全会一致で可決
市議第20号	平成29年度伊東市水道事業会計補正予算(第1号)	伊豆赤沢望洋台分譲地専用水道を伊東市水道事業に統合したことに伴う収益的支出313万4,000円の増額	市長	全会一致で可決
市議第21号	平成29年度伊東市一般会計補正予算(第5号)	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行に伴う経費3,278万4,000円の追加	市長	全会一致で可決
市認第6号～市認第16号 🗨️ 討論	平成28年度伊東市一般会計歳入歳出決算、8 特別会計歳入歳出決算、2 企業会計決算	地方自治法第96条第1 項第3 号に基づく各会計の平成28年度歳入歳出決算の認定 詳しくは4 ページの表をごらんください。	市長	4 ページをごらんください
市選第18号	教育委員会委員任命の同意について	井上靖史氏（八幡野）を再任	市長	全会一致で任命に同意
市選第19号	公平委員会委員選任の同意について	佐藤直道氏（富戸）を再任	市長	全会一致で選任に同意
市選第20号	監査委員選任の同意について	鈴木克政議員（議員のうちから選任する委員）	市長	全会一致で選任に同意
発議第3号	精神障害者の交通運賃割引に関する意見書	内閣総理大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、衆議院事務総長及び参議院議長に提出	議員 8 名	全会一致で可決
発議第4号	道路整備事業に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣、衆議院事務総長及び参議院議長に提出	議員 8 名	全会一致で可決
発議第5号	議長辞職願について	稲葉富士憲議長の議長辞職	—	全会一致で許可
発議第6号	副議長辞職願について	佐山正副議長の副議長辞職	—	全会一致で許可
発選第4号	議会運営委員会委員の補欠選任について	青木敬博議員を選任	議長	全会一致で選任
発選第5号	常任委員会委員の選任について	委員会委員任期満了に伴う改選	議長	全会一致で選任
発選第6号	議会運営委員会委員の選任について	詳しくは12ページをごらんください。	議長	全会一致で選任
発選第7号	議長選挙	有効投票19票のうち、井戸清司議員19票で井戸清司議員が当選	—	—
発選第8号	副議長選挙	有効投票18票のうち、長沢正議員18票で長沢正議員が当選	—	—

会派構成は12ページをごらんください。

本会議で行われた
討論の概要

■市認第五号
【賛成】伊東新時代。

夏季の観光集客にかなう施設として、海上遊具を早期に導入したスピード感ほ評価するが、設置計画及び多額な費用が専決処分となる説明が事前になかったことは、市議会、すなわち市民を軽視していると同義であると思える。今後は計画、予算、報告等が適正に行われるよう努めていただくことを要望し、賛成する。

■市認第六号

【賛成】正風改革クラブ

地方創生加速化交付金の活用や事務事業の集中的な見直しにより自主財源の確保を推進してきたことや、財政調整基金、減債基金など一般会計における基金残高が増加し、一般会計へ繰り出しや市債の償還などの財源に充てられるための基金が回復したことなど安定した財政運営がなされる状況になったことから認定する。

閉会中の議会活動

平成29年

※平成29年6月定例会閉会から
平成29年9月定例会開会まで

- 7月28日 議会報編集委員会
7月31日 常任福祉文教委員会協議会
8月2日 常任観光建設委員会協議会
8月29日 議会運営委員会
8月30日 常任福祉文教委員会協議会



【賛成】日本共産党

国政や経済の状況、また事業の拡大に合わない職員数の削減が、行政課題の根本にあると考える。待望の中学校給食の実現は評価できるが、課題はある。対島地区のごみ収集民間委託はコストや雇用の検証が再度必要と考える。市営住宅の待機者解消など、市民生活を反映した予算編成を期待しつつ、決算を認定する。

平成28年度

市長決算概要説明

(要旨)

予算編成の背景

平成二八年度一般会計当初予算は、景気回復の兆しが見え始め、個人市民税や入湯税の増収が見込まれた中においても、財政健全化に向けた取り組みを着実に進めつつ、市民の皆様と行政が協働し知恵を出し合う「未来協知」の取り組みを進展させ、市民幸福度向上を図り、将来像実現を目指して、未来を見据えたまちづくりを前進させる各種施策の展開を念頭にサマレービュウの成果を反映させた。

歳入歳出決算の概要

歳入決算においては、自主財源では、大きな比重を占める市税が対前年度比で上回り、また、財政調整基金を取り崩したことで、繰入金が増加しているが、自主財源全体でも対前年度比で増加となっている。

依存財源では、利子割交付金を初めとした各種交付金が減少したものの、学校

給食センター建設事業や新保健福祉施設建設事業などの大型事業があったことにより市債が増加している。

歳出決算では、経常経費において、駿東伊豆消防組合が発足したことにより人件費が、また、高利率の地方債の償還が進んだことにより公債費がそれぞれ減少したが、駿東伊豆消防組合への負担金がふえたことにより補助費が増加している。投資的経費については、普通建設事業において、繰越事業として平成二七年度から継続して事業を進めた学校給食センター建設事業や新保健福祉施設建設事業などの大型事業を実施した結果、大きく増加している。また、健康福祉センターが竣工し、市民の皆様の健康増進のみならず、新たな交流の場を創出することができた。さらに、駿東伊豆消防組合に係る経費を負担したほか、住宅リフォーム

平成28年度 一般会計・特別会計・企業会計決算

◎全会一致で認定 ○賛成多数で認定

区 分		歳 入		歳 出		審議 結果
		決算額(円)	収入率(%)	決算額(円)	執行率(%)	
一 般 会 計		27,754,727,058	98.0	27,046,359,811	95.5	◎
特 別 会 計	下 水 道 事 業	2,174,622,119	99.0	2,165,885,945	98.6	◎
	競 輪 事 業	21,342,659,397	98.5	20,810,303,266	96.0	◎
	国民健康保険事業	11,975,099,855	101.6	11,366,856,558	96.5	◎
	土 地 取 得	478,324	12.3	389,947	10.0	◎
	霊 園 事 業	38,428,485	99.3	38,383,414	99.2	◎
	介護保険事業	7,506,029,903	100.0	7,439,808,555	99.1	◎
	介護老人保健施設	85,805,761	100.1	85,561,632	99.8	◎
	後期高齢者医療	1,791,032,655	100.0	1,770,105,418	98.8	◎
合 計		72,668,883,557	99.0	70,723,654,546	96.4	—

区 分 会計別			収 入		支 出		審 議 結 果
			決算額(円)	収入率 (%)	決算額(円)	執行率 (%)	
企 業 会 計	病院事業	収益勘定	373,621,483	100.0	436,893,613	99.4	◎
		資本勘定	87,345,000	100.0	471,544,932	100.0	
	水道事業	収益勘定	1,756,880,666	100.9	1,422,003,472	97.2	◎
		資本勘定	327,597,280	100.9	1,078,071,430	94.8	

振興補助事業や地元業者に対して小規模修繕工事等を幅広く発注するなど、本市独自の切れ目のない緊急経済雇用対策により、市内経済の活性化にも努めた。

本市の財政状況

本市の財政は、事務事業の見直しなど、これまで一貫して継続してきたさまざまな改革への取り組みにより、適正とされる規模の黒字を確保するとともに、新設した基金への積み立てな

ど、将来を見据えた財源の確保を図ることができていることなどから、健全化判断比率等の財政指標も含め、その健全性は維持できているものと判断している。

本決算の意義を真摯に受け止め、市民の皆様や議員各位からの貴重な御意見、御指導をいただきながら、最善の努力をしてまいります。

決算大綱質疑

会派及び会派に所属していない議員から6議員が登壇／
決算概要説明及び各会計決算に係る議案について質疑

(質疑順に掲載。会派構成は12ページをごらんください。)

各基金の運用状況を伺う



正風改革クラブ
井戸清司議員

少子高齢化の進展により生産年齢人口が減少し、自主財源の大幅増は見込めない中、財政調整基金と減債基金のバランスを保ちつつ、各基金に積み立てることは将来の負担軽減にもつながることから、各基金の運用状況について伺う。

市長

取り崩しと積み立てのバランスを考慮し、運用していく

財政調整基金については、四億円を取り崩し、学校給食センター建設事業などに活用した。今後も、法定分を積み立てつつ、政策の実現のために必要な額を取り崩しながらも、突発的な事象に対応できるよう標準財政規模の一五％に相当する、二五億円程度の残高を維持

していきたい。

その他の特定目的基金のうち、福祉基金は、健康福祉センター建設事業費の一部として二億円を取り崩した。体育施設整備基金に三五〇万円、文化施設整備基金に五〇〇万円を積み立てた。この二つの基金については、事業が具体化した段階において活用できるように、財政調整基金とのバランスを保ちつつ、積極的に積み立てていきたい。

減債基金は、平成二九年度当初予算において、増加する公債費の財源とするため、二億円の取り崩しを計上している。平成三〇年度以降は、さらなる公債費の増加が見込まれ、毎年度二億円程度を繰り入れる必要があると考えている。今後、取り崩しと積み立てのバランスを考慮しながら、一〇億円程度の残高を維持していきたいと考えている。

障害者自立支援事業の増額要因を伺う

市長

自立支援給付費において生活介護、就労継続支援などのサービス利用が増加したことによる増額である。また、障がい児の発達支援を実施する放課後等デイサービスにおいて、新たな事業所が開所し、利用が進んだことも要因と考えられる。これらは、障がい者の社会参加が進み、主に日中活動系サービスの利用が増加している近年の傾向をあらわしたものと考えている。『その他の質疑』一六項目



自民・絆
中島弘道議員

人件費、生活保護費及び公債費が対前年度比で減となった要因及び今後の見通しを伺う

一般会計歳出に関し、義務的経費である人件費、扶助費における生活保護費及

び公債費が、対前年度比でそれぞれ減となっているが、その要因及び今後の見通しを伺う。

市長

人件費については、消防広域化、生活保護費は高額な医療件数が減少したことなどが挙げられ、公債費は一部の市債の償還が完了したこと等による

人件費については、消防救急広域化に伴い、駿東伊豆消防組合へ消防職員が派遣されたことによる減であるが、消防職員も含めた場合の人件費としても、若干の減となっている。今後の推移としては、業務見直しや民間委託を進めることにより、職員数の適正化が図られ、人件費は抑制されていくものと見込んでいる。

生活保護に係る扶助費については、高額な医療の件数が減少したことによる医療扶助費や救護施設の入所者数の減少による施設事務費がそれぞれ減額となったことによるものである。な

お、平成二九年度においては、受給者数に若干の減少傾向が見られることから、平成二八年度決算額に対して、微減となることが予想される。

公債費については、平成一二年度及び一三年度に実施した、生涯学習センター萩会館建設事業や、白石護岸改修プロムナード整備事業のために借り入れた市債の償還が完了したほか、平成七年度までに借り入れた、金利の高い市債の償還が進んだことなどから、決算額においては、元金、利子ともに毎年度減少となつていく。しかしながら、環境美化センター更新改良整備事業、学校給食センター建設事業及び新保健福祉施設建設事業で総額三六億七六七〇万円の市債を借り入れており、平成二九年度以降は、毎年度、新たに元金償還が開始されていくことから、公債費については、今後、平成三六年度までは増加していくものと見込んでいく。

『その他の質疑』二八項目



民進クラブ
四宮和彦議員

学校調理場運営事業及び学校給食センター運営事業について伺う

学校給食センターにおける食材の地元業者からの購入実績について伺う。また、学校給食地産地消推進事業の成果について伺う。

市長
従来では使用できなかった地元食材の提供が可能となった

給食センターで使用する食材については、毎月、見積もり合わせを実施するとともに、収穫量や時期により、取扱業者が一カ月を通じての納入が困難な場合は、希望日の納入にも対応するなど、多くの地元業者が参画できる体制が構築されていると考えている。平成二八年度の購入実績は、

静岡県学校給食会から購入している主食等を除く約五七七〇万円のうち、地元業者からの購入額は約八五％の四九〇〇万円ほどである。

学校給食地産地消推進事業は市内全校で実施し、平成二八年度の購入額は四六〇万円ほどである。本事業の実施により、農協や漁協を初め、地元農家や漁業関係者の協力を得ながら、従来では使用できなかった地元食材の提供が可能となった。特に、健康保養地づくり実行委員会主催のレシピコンテストで受賞した、宇佐美港のしらすを使つた、しらすとかぼちゃのコロッケは、市内全校で提供した。今後、地産地消を積極的に進めるとともに、産業課とも連携を図り、市内における第一次産業の育成に向け、本事業の周知に努める。

『その他の質疑』一〇項目



公明党
鳥居康子議員

歳入について、市税全体では対前年度比で増となっている一方で、入湯税が減となっていることから、市内経済の状況をどのように判断しているか伺う

市長

市民税については、所得状況を反映した個人市民税が増となり、対前年度比で二・五％の増、固定資産税についても〇・六％の増となった。一方、入湯税は、現年の施設別入湯客数において、旅館は二万六一〇五人の増、寮・保養所は二万一二九人の減、日帰り温泉は一万四九七〇人の減であるが、旅館の入湯客が増加している状況から、来遊客数は増加傾向にあり、日帰り温泉でも税に反映され

ない料金での入浴客は増加していると推測している。国においては、緩やかな景気の拡大が続いているものの、市内経済においては、いまだ実感するまでには至っていない状況であると判断している。

『その他の質疑』二項目



日本共産党
重岡秀子議員

ごみ収集業務の民間委託に関し、雇用創出や雇用の安定にどのような効果があったと考えているか、また、委託の今後の方針と計画について伺う

市長

雇用創出や雇用の安定についての効果としては、市が臨時職員として雇用していた収集作業員を民間事業者が正規雇用するなど、一定の効果があつたものと考えている。

ごみ収集業務の民間委託の今後の方針と計画については、質の高い行政サービスを提供するとともに、行政運営を効率化していく観点から、検討を進めていく方針である。伊東市一般廃棄物処理基本計画に沿って、本市にとって最適なごみ収集業務を実施するため、対島地区の収集委託を検証する中で、新たな委託対象地区や委託対象品目などの検討を進めている。

『その他の質疑』 五項目



伊東新時代。
杉本一彦議員

本市の消防団の編成は、昭和四〇年頃から大きく変わっていないが、市内の人口減少や高齢化等の変化を踏まえ、将来に向けて消防団の再編成等について、検討がされてきたか、また今後の展望を伺う。

市長

各分団が管轄する地区の人口減少や高齢化等により、消防団員確保が厳しくなっている分団があることは承知しており、今後もこの傾向は続くものと認識している。一方、消防団は最も身近な防災機関として長い歴史があり、将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない存在である。現在、各分団の実情等を把握するためのアンケートを実施するなど、行政区と分団との意見集約を進めているが、消防団行事の見直しの検討や、組織の再編成等、今後のあり方については、地域や消防団と十分な協議を行い、検討したい。

『その他の質疑』 九項目

ことばの解説

(決算大綱質疑)

九月定例会において行う決算概要説明及び決算に係る議案に対する質疑で、質疑時間は議員一人につき二〇分の持ち時間を基本とし、会派及び会派に所属していない議員により実施する。

一般質問

11議員が登壇/市政全般について質問 (登壇順に掲載)



正風改革クラブ
山口嘉昭議員

大雨特別警報が発表された際の対応について伺う

気象庁が平成二五年から運用を開始した特別警報は、大津波や火山噴火、数十年に一度の豪雨など、重大な災害の起こるおそれが著しく大きい場合に発表するが、大雨特別警報が発表された際の対応について伺う。

市長

同報無線のほか、メールマガジン配信等で情報を流す

大雨特別警報が発表されると、Jアラートにより、同報無線による広報が自動放送される。本市においては、メールマガジンの配信、ケーブルテレビのL字テロップのほか、FMいとうから防災情報を放送する。また、本市の配備体制については、状況により災害

対策本部が設置され、職員二一六人が参集する配備体制をとり、避難所開設等の準備を行う計画である。

『その他の質問』 四項目



伊東市災害対策本部運営訓練 (平成28年)



自民・絆
大川勝弘議員

オレンジビーチの整備について伺う

集客の面から海岸整備には各自自治体がさまざまな改善や工夫をしていることから、オレンジビーチの活用について考えを伺う。

また、砂浜内の整備について、将来にわたり、市民や観光客の皆様に親しまれるよう、効果的な整備について、管理者である熱海土木事務所と協議していく。

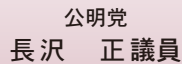
『その他の質問』 四項目



民進クラブ
鈴木克政議員

今年度中に図書館・文化ホール建設に向けた基本構想を策定し、その後、有識者で構成される専門委員会
で検討を進めるとともに、広く市民の意見を伺ってまいりたい。文化活動の拠点整備はその活動推進はもとより文化力の向上、移住定

伊東図書館



被災者支援システムは被災者支援に必要な情報を一元管理することができ、支援業務の効率化や正確性に資すると考える。また被災者が何度も申請を行わ

『その他の質問』 五項目



自民・絆
青木敬博議員

市長

パンフレット作成の際に提示し、各国の趣向に合わせたものを作成している

美しい伊豆創造センターがパンフレットを作成する際に提言させていただき、各国の趣向に合わせたものを作成している。英語版では、海やウオーキングを、ハングル語版では、パワーショットやゴルフ場を、繁体語版では、神社仏閣や文

化遺産を、簡体語版ではテーマパーク等の情報をメインに載せており、共通の内容として、伊豆半島の食や花、温泉、富士山の見えるスポット等を紹介している。

『その他の質問』 六項目



各国の趣向に合わせた内容を掲載



日本共産党
重岡 秀子 議員

八幡野地区におけるメガソーラー建設計画について伺う

八幡野地区のメガソーラー建設計画は宅地造成等規制法に基づいて審査中であると聞か、どのような点に留意して審査しているか、また、八幡野川の使用につ

いて、管理者である市の許可が必要となるが、その判断基準を伺う。

市長
十分精査する中で審査は慎重に行っている

審査は法に基づく技術基準に適合した設計であるかを確認している。主に、調整池を含む雨水排水計画と、切土、盛土に関する造成計画の基準において、開発区域の状況を的確に把握した計画から十分精査する中で審査は慎重に行っている。また、八幡野川の使用については、本市の土地利用指導要綱に基づき現況の河川に新たな負担がかからないことを判断基準としている。

『その他の質問』 三項目



増水した八幡野川



伊東新時代。
犬飼このり 議員

猫について、届け出制度を導入する考えはないか伺う

ひとり暮らしの高齢者が飼っている犬猫や、外猫の飼い主の有無等を把握することは、迷子や殺処分となる不幸なペットをふやさないだけでなく、災害時には、同行避難やペットの野生化などの問題があることから、現在、法規制のない猫についても、届け出制度を導入するとよいと考えるが、本市の考えを伺う。

市長
導入している自治体等を調査し、研究をしていきたい

猫の届け出については、飼育猫の飼育環境が異なることや、地域猫のように、地域が管理する猫の届け出方法などの諸課題があることから、制度導入の趣旨や

目標、効果等を検討する必要がある。今後、既に導入している自治体などを調査し、研究をしていきたい。

『その他の質問』 六項目



迷子になるペットを減らしたい



民進クラブ
浅田 良弘 議員

児童生徒に対する通学費の補助について、実施の見通しを伺う

子育て世代への支援策として、公共交通機関を利用して通学する児童生徒に対する通学費の補助を進めるとのことであったが、実施の

見通しについて伺う。

市長
実施できるよう段階的に内容を検討していく

経済的な理由により就学援助制度を利用している児童生徒に対する助成について、来年度の実施に向け、内容を検討しているところである。その他の児童生徒への通学費の助成については、公共交通機関の利用状況及び他市の状況などを勘案する中で、来年度以降、内容について検討していく。さらに、高校生への通学費の助成については、小中学生への助成内容の検討結果を踏まえ、検討していきたい。

『その他の質問』 五項目





日本共産党
佐藤龍彦議員

玖須美保育園の一時預かり事業について伺う

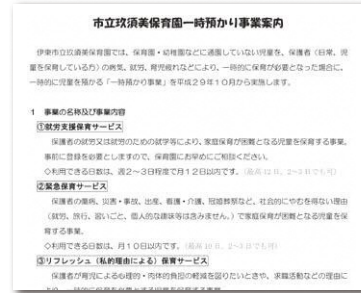
今年度一〇月から実施される玖須美保育園の一時預かり事業については、本市の待機児童対策の一環として取り組むのか、また、今後どのような待機児童対策を考えているのか伺う。

市長
本市の待機児童解消の一翼を担うものと考えている

本事業は、保育園・幼稚園等に通園していない乳幼児を一時的に保育が必要となった場合に預かるもので、本市の待機児童解消の一翼を担うと考えている。事業は就労支援保育サービス、緊急保育サービス、私的理由によるリフレッシュサービスの三種類で、それぞれ利用できる期間を月ごとに

定め、より多くの家庭が利用できる仕組みとしている。今後も多様な保育事業を検討し、待機児童解消に努めていく。

『その他の質問』 五項目



玖須美保育園
一時預かりパンフレット (一部抜粋)



伊東新時代。
杉本一彦議員

特別顧問職について伺う

新設された特別顧問職に前市長が委嘱されたが、具体的な職務及び期待する役割について伺う。また、前市長が選任されるに至った理由及び経緯を伺う。

市長
助言・提言をいただくことにより、市政の円滑な運営を図ることを期待している

『その他の質問』 六項目



特別顧問の委嘱式

特別顧問は、市政全般に対する専門的な識見と経験を有し、円滑な行政運営に資する者としていただくことにより、市政の円滑な運営を図ることを期待しております。豊富な政治経験をお持ちの前市長が最も適任と判断し、私から就任をお願いをした。特に、東京オリンピック・パラリンピックでは自転車競技が伊豆市で開催されるため、人脈、経験に基づく的確な助言・提言や関係団体との調整役をお願いする。



民進クラブ
四宮和彦議員

市道の認定、廃止及び変更に係る事務について伺う

伊東市土地利用事業等の適正化に関する指導要綱別表第三個別基準に関し、道路の改廃により、未買収地が無道路地となる場合、または、住民が生活に利用している経路が大幅に変更される場合に、当該土地所有者などの同意は要件となるのか伺う。

市長
要件ではないが、地権者等の同意を求めるよう指導する

当該要綱に基づき、無道路地とならないよう指導をしているが、やむを得ず無道路地となる場合は、所有権を取得するか、地権者の承諾を得るよう指導する。また、道路法上、路線の変更・区域変更等を行う際、

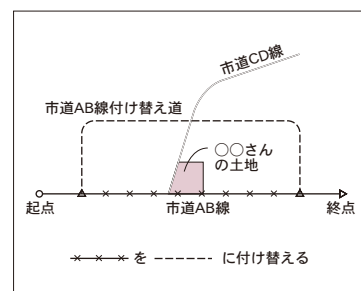
地権者の同意は法令上の要件ではないが、住民生活に支障を来す場合は、関係地権者並びに区長等に同意を求めるよう指導している。

『その他の質問』 七項目

12月定例会の予定

12月1日(金) 開会

※日程等は、11月下旬の議会運営委員会において正式に決定します。



住民が生活に利用している経路が大幅に変更される場合の説明図

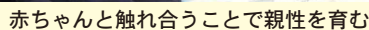
◆詳細は、一二月下旬発行予定の九月定例会会議録の委員会審査報告をごらんください。

福祉文教委員会

問 平成二八年度に始めた親性準備教育事業の実施内容について伺う。

一環として実施するもので生徒が乳児と触れ合う機会を創出し、母性及び父性を

育む事業である。将来子供を産み育てることの大切さを学ぶための重要な事業であることから、今後も継続して実施したい。



市議会では、市民の皆様
に、市議会の情報をお届けす
るため、ホームページを開
設しています。

主な内容は次のとおりとな
っていますので、ぜひごら
んください。



秘書等が代理で出席する場合の葬儀の香典

市 議 会 だ よ り

正副議長の選挙

一〇月二日の最終
本会議において、正
副議長から辞職願が
提出されたことに伴
う選挙の結果、議長
に井戸清司議員、副
議長に長沢正議員を
選出しました。



第74代議長
井戸清司議員



第70代副議長
長沢正議員

会派の異動

■八月八日 会派の異動

大川勝弘議員

(新) 自民・絆

(旧) 正風改革クラブ

■一〇月二日 会派代表変更

正風改革クラブ

(新) 佐山 正 議員

(旧) 井戸清司 議員

公明党

(新) 鳥居康子 議員

(旧) 長沢 正 議員

※井戸清司議長は、総務委員会に所属していますが、申し合わせにより、委員活動を辞退しています。
【会派略名】(正)正風改革クラブ(絆)自民・絆(民)民進クラブ(公)公明党(共)日本共産党
(新)伊東新時代。(無)会派に所属していない

常任総務委員会 ～企画部・総務部・市民部の所管に属する事項、及び他の委員会の所管に属さない事項

委員長 稲葉富士憲(絆)	副委員長 山口嘉昭(正)	委員 青木敬博(絆)	委員 浅田良弘(民)	委員 重岡秀子(共)	委員 横沢 勇(無)
-----------------	-----------------	---------------	---------------	---------------	---------------

常任観光建設委員会 ～観光経済部・農業委員会・建設部・上下水道部の所管に属する事項

委員長 佐山 正(正)	副委員長 稲葉正仁(無)	委員 大川勝弘(絆)	委員 鈴木克政(民)	委員 長沢 正(公)	委員 犬飼このり(新)
----------------	-----------------	---------------	---------------	---------------	----------------

常任福祉文教委員会 ～健康福祉部・教育委員会の所管に属する事項

委員長 鳥居康子(公)	副委員長 佐藤龍彦(共)	委員 土屋 進(正)	委員 中島弘道(絆)	委員 四宮和彦(民)	委員 杉本一彦(新)
----------------	-----------------	---------------	---------------	---------------	---------------

議会運営委員会 ～議会の会期及び議案審議予定など議会運営に関すること

委員長 土屋 進(正)	副委員長 中島弘道(絆)	委員 山口嘉昭(正)	委員 青木敬博(絆)	委員 四宮和彦(民)	委員 杉本一彦(新)
----------------	-----------------	---------------	---------------	---------------	---------------

市議会内の会派構成

平成二九年一〇月二日現在

◎は代表者、会派構成議員
は議席順

正風改革クラブ

山口 嘉昭 議員

◎佐山 正 議員

井戸 清司 議員

土屋 進 議員

自民・絆

大川 勝弘 議員

青木 敬博 議員

◎中島 弘道 議員

稲葉富士憲 議員

民進クラブ

◎四宮 和彦 議員

鈴木 克政 議員

浅田 良弘 議員

公明党

◎鳥居 康子 議員

長沢 正 議員

日本共産党

佐藤 龍彦 議員

◎重岡 秀子 議員

伊東新時代。

犬飼このり 議員

◎杉本 一彦 議員

横沢 勇 議員

●会派に所属していない
稲葉 正仁 議員

編集後記

表紙写真は国道一三五号
一碧湖入り口付近の新旧比
較写真です。正確な撮影年
は不明ですが、料金が設
置されていることから、昭
和四十七年以前の風景である
と思われます。

写真の当時に比べ、今で
は格段に交通の利便性が向
上したにもかかわらず、か
つてのほうが、まちに活気
やにぎわいがあったと思う
方は多いと思います。

私たちは何を失い、何を
手にしたのか真剣に考え、
これに向き合って、未来へ
の知恵を生み出していける
伊東市議会でありたいと思
います。(四宮)

議会報編集委員会

委員長 四宮 和彦

副委員長 佐藤 龍彦

委員 山口 嘉昭

委員 大川 勝弘

委員 鳥居 康子

委員 犬飼このり

市議会に関するご意見
ご質問は議会事務局へ